

「交通空白」解消に向けた取組方針2025 (案) 概要

「交通空白」解消に向けたこれまでの取組と今後の対応

「交通空白」解消本部

(R6年7月17日設置)



解消本部と官民連携プラットフォームを両輪として、「交通空白」の解消に向けた取り組みを強力に推進

「交通空白」解消・官民連携プラットフォーム

(R6年11月25日発足)



地方運輸局・運輸支局による自治体、交通事業者への伴走支援

603 の首長への訪問

26 の都道府県との連携

1318 の交通事業者への働きかけ



首長への訪問
(鳥取県米子市)



都道府県との連携
(奈良県主催の勉強会)



交通事業者への働きかけ
(山口県タクシー協会)

お困りごとを抱える自治体、交通事業者と、幅広い分野の企業・団体群の連携・協働体制

★プラットフォーム会員 (R7.5.20時点) 計1166者

①745市町村・47都道府県、②交通関係104団体

③70団体、④パートナー企業200

→ 今後も随時募集



R6/11/25 第1回会合
(約500名が参加)

第3回「交通空白」解消本部時点で、「空白等」(※)とされていた622市町村が24市町村まで減少する等
全国の自治体に、公共ライドシェア・日本版ライドシェア、乗合タクシー等
「交通空白」解消のツールが着実に浸透

※令和6年5月調査時点で公共・日本版RS未着手の自治体(一部調査未回答含む)

これまでの取組は、公共RS・日本版RS等に全く未着手の自治体にツールを導入する段階にあり、全国の「交通空白」ひとつひとつの解消は緒に就いたばかり

集中対策期間(令和7～9年度)の対応

「交通空白」解消に向けた取組方針2025のもと、

- リストアップされた個々の「交通空白」(地区単位※)について、解消に向けた道筋を定める
- 「交通空白」解消に向けた持続可能な体制づくりを推進する

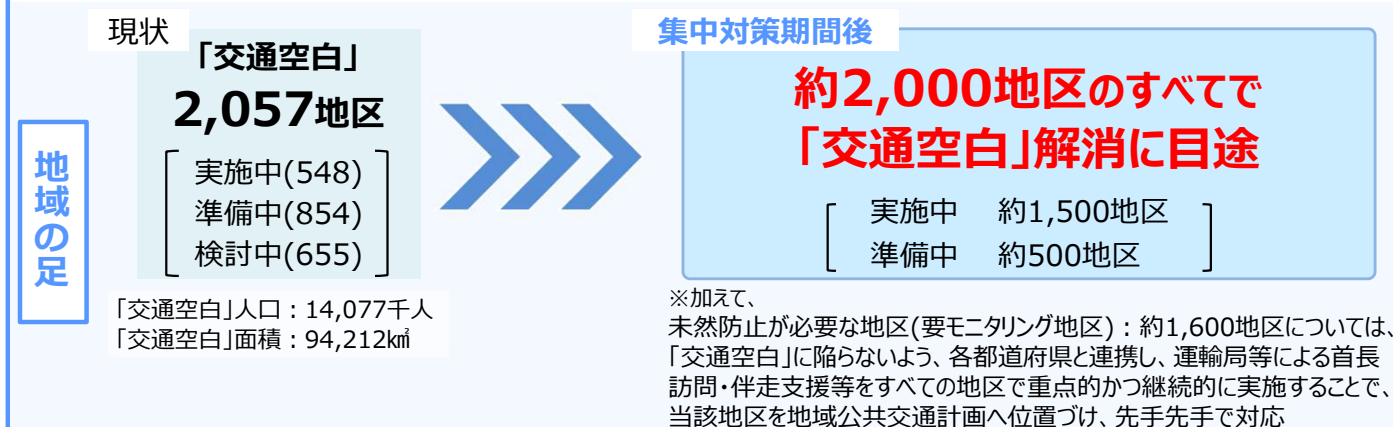
※○○市●●地区、▲▲地区

「交通空白解消・集中対策期間」における取組方針(概要)

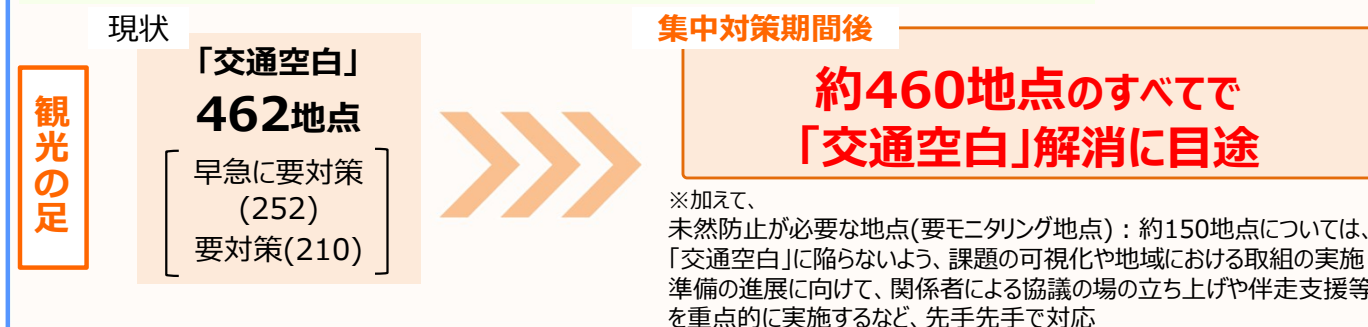
「交通空白解消・集中対策期間」における取組方針

集中対策期間（令和7～9年度）において、全国の「交通空白」解消に早急に取り組むとともに、集中対策期間後も見据え、加速する人口減少・高齢化への対応やインバウンドの地方誘客に向け、今後発生する「交通空白」への対応のほか、「交通空白」を発生させない先手先手の対応に向け、自治体等における「交通空白」解消に向けた持続可能な体制づくりを推進する。

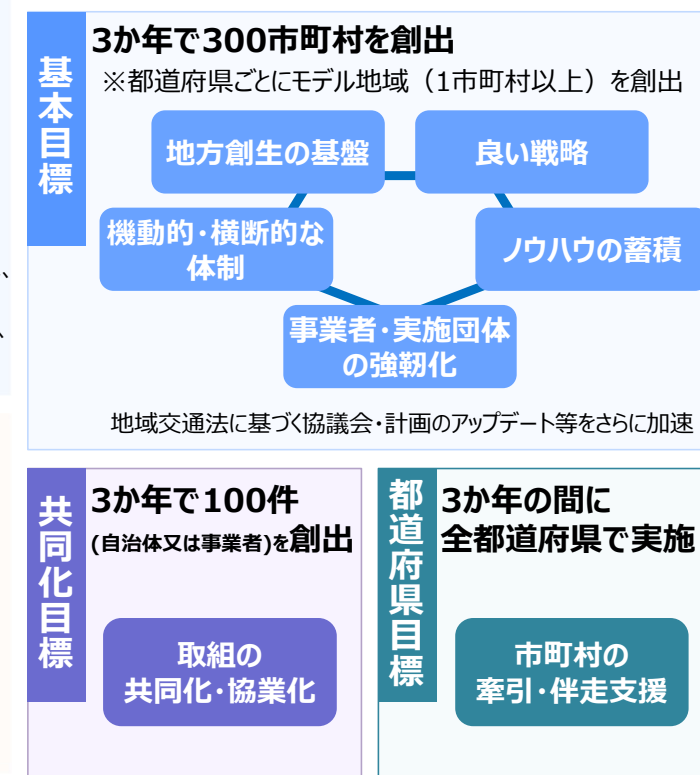
(1) 目の前の「交通空白」への対応



「**地域の足**」×「**観光の足**」の総合的な確保（ハイブリッド化）も推進



(2) 「交通空白」解消に向けた 持続可能な体制づくり



国による総合的な後押し

地方運輸局等による
首長訪問・事業者との
橋渡し・伴走支援

制度・事例等に係る
情報・知見の提供
ガイダンス、ポータルサイト、カタログ

実証・実装等に向けた
十分な財政支援

「交通空白」解消・官民
連携プラットフォーム
民間の技術・サービス、マッチング・
交流の場、パイロット・プロジェクト

新たな制度的枠組み
の構築
共同化・協業化、自治体の体制強
化、観光の足とのハイブリッド化 等

地方運輸局等による 首長訪問・事業者との橋渡し・伴走支援

地方運輸局等により、首長等への直接訪問や自治体担当者との事務打合せ、交通事業者等との橋渡し・調整、都道府県と連携した制度等の説明会の開催等を実施



首長への訪問
(鳥取県米子市)

事業者への働きかけ
(山口県タクシー協会)



都道府県との連携
(奈良県主催の勉強会)

制度・事例等に係る情報・知見の提供

自治体業務の補完・省力化を推進し、「交通空白」解消に向けた持続可能な体制づくりを支援するため、ガイダンスやポータルサイト、カタログ等の支援ツールを提供



アップデートガイダンスVer1.0
(データ活用方法の解説)



「担い手」「移動の足」不足対応カタログ
(日本版・公共RS等の制度解説)



MOBILITY UPDATE PORTAL
(実務者向け支援ツール)



国土交通大学校での研修
(データやGISの活用等の研修)

実証・実装等に向けた十分な財政支援

予算面や体制構築(広域調整、担い手づくり等)を必要とする取組に対して、各種支援メニューにより、「交通空白」解消に向けた取組の実装や持続可能な体制づくりを後押し

スクールバスへの地域住民の混乗にかかる実証事業(京都府京田辺市)

路線バスの運行本数が少なく、通勤・通学・通院の時間帯に便が無い、運転者不足により増便できないという課題に対して、スクールバスへの地域住民の混乗を実施



複数施設での共同送迎システムによる運行実証事業(岡山県玉野市)

福祉事業者と交通事業者が連携し、複数施設で共同利用できるデマンド機能付き送迎システムを構築し、通所介護の共同送迎と、高齢者外出支援サービスの運行実証を予定。



R7年度「交通空白」解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト 採択件数
(R7.5.30時点)

「交通空白」解消緊急対策事業: 200件 モビリティ人材育成事業: 61件
共創モデル実証運行事業: 141件 日本版 MaaS 推進・支援事業: 29件

「交通空白」解消・官民連携プラットフォーム (R7.5.20: 1,166会員)

民間の技術・サービス、マッチング・交流の場、パイロット・プロジェクト

「交通空白」解消・官民連携プラットフォームにおける交流・マッチング、パイロット・プロジェクトの展開等を通じ、自治体、交通事業者のほか、様々な分野の企業・団体群とのネットワーク構築や新技術・サービスの活用を促し、持続可能な取組の構築を推進

第1回プラットフォーム発足
(R6.11.25)

第2回プラットフォーム
(R7.3.19)

さらなる官民の取組
実装に向けて



発足時の総会に
計500名超が参加



平井鳥取県知事ほか
各界からの講演



カタログによる
マッチング支援



パートナー企業からの
ご発表

パイロット・プロジェクトの展開 (5分野20プロジェクト程度)

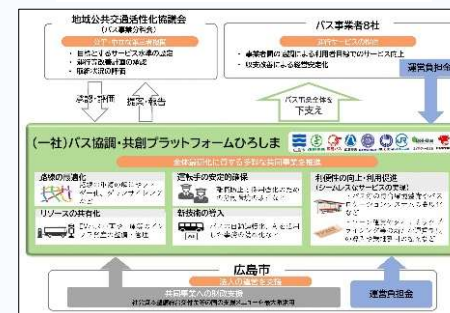


新たな制度的枠組みの構築

共同化・協業化、自治体の体制強化、観光の足とのハイブリッド化 等

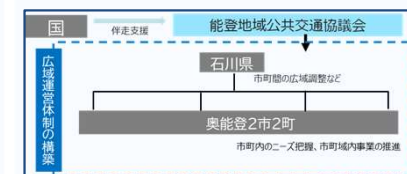
市町村等が先導する事業者・産業・自治体の壁を超えた連携・協働(モビリティ・パートナーシップ・プログラム)による輸送サービスの共同化・協業化、市町村等の地域交通関係事務を補完・代替する主体の構築、モビリティデータの活用、「地域の足」「観光の足」の総合的な確保等を促進するための新たな制度的枠組みを構築

バス協調・共創プラットフォームひろしま



- 広島市とバス事業者 8 社で、協調・共創プラットフォーム(一般社団法人化)を立ち上げ、共同運営システムを構築
- データを活用した企画立案・システムや車両の共有等を実施

能登地域における広域連携のイメージ



奥能登2市2町で

- 広域で共通のAIオンデマンド交通の導入
- 広域運営体制を構築することにより、圧倒的な担い手不足に対応

準備中の「交通空白」地区

○地区の概要

鳥取県倉吉市 北谷地区・高城地区
 <人口：3千人、面積：55km²>

○ステータス

準備中×集中対策期間に対応

○「交通空白」の現状・お困りごと

- ・中山間地域に位置し、**地区内に買物環境や医療機関が存在しないため、地区外の目的地へ通じる交通手段の確保が必要。**
- ・地区の入り口まで通じる路線バスが存在しているが、人手不足等により、**路線の短縮や減便が続いている**とともに、地区内を乗合タクシーが走っているが、**路線バスとの乗り継ぎが不便**などであることを理由に利用者が少ない。

○今後の対応

- ・「交通空白」解消緊急対策事業を活用して利用者ニーズを把握しつつ運行計画を策定し、**令和8年度からの公共ライドシェアの実証に向けて準備中。**具体的には、商業施設や医療機関がある地区外の拠点の西倉吉に交通結節点を仮設し、当該結節点まで乗合タクシーの乗り入れを検討。
- ・また、将来的には、**地域新電力が運行主体となり、再エネの売電収益を活用して地域交通を維持・活性化**する仕組みを構築予定であり、引き続き伴走支援を実施。



準備中の「交通空白」地区

○地区の概要

愛媛県松野町 町内全域
 <人口：3.5千人、面積：98.45km²>

○ステータス

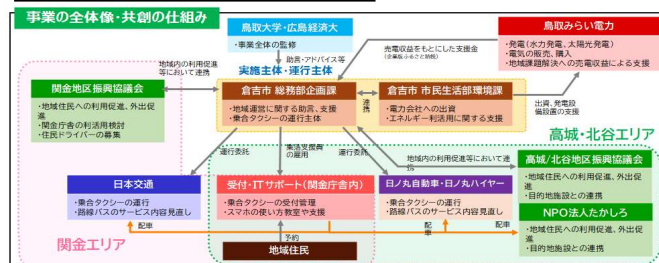
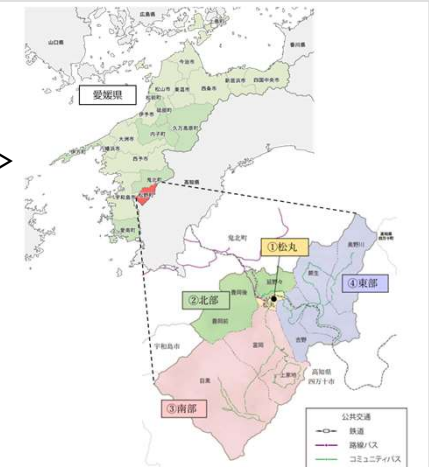
準備中×速やかに対応

○「交通空白」の現状・お困りごと

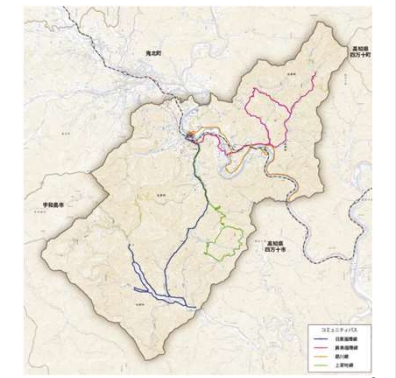
- ・路線バスの停留所、鉄道駅までの**アクセスが難しく、運行本数も少なく使いづらい**ほか、**特定の時間帯において鉄道やバスの運行本数・台数が不足**するなど、地理的観点・時間的観点からも課題がある。
- ・これまで定時定路線のコミュニティバスを運行してきたが、**1日の運行本数が限られており、かつ町内全域をカバーできていない**ルートになっている。また、コミュニティバスの区域内であっても、高齢者等のラストワンマイルの課題が生じている。

○今後の対応

- ・「交通空白」解消緊急対策事業を活用して、**デマンド交通（公共ライドシェア）の実証運行を準備中**であり、地方運輸局等において引き続き伴走支援を実施。
- ・また、本取組については、「松野町地域公共交通計画」への位置づけを予定。



コミュニティバス運行ルート▶



準備中の「交通空白」地区

○地区の概要

奈良県吉野町 町内全域
＜人口：5.8千人、面積：95.65km²＞

○ステータス

準備中×集中対策期間に対応



○「交通空白」の現状・お困りごと

- ・バスの運行本数が少なく、朝夕の時間帯でのバス等の運行本数・台数が不足している。
- ・生活必需サービス、通学、通勤、夜の時間帯における移動手段の確保が必要。
- ・また、路線バスが町内から撤退したことを受け、平成21年6月からコミュニティバスの運行を開始したが、買物、通院を町内で済ませることができなくなってきており、広域的な運行も必要。

○今後の対応

- ・令和6年度3月末に3日間、観光資源の一つである桜を見に来る観光客の夜間の移動の足の確保のため、町の商工会が中心となって、道路運送法上の許可登録を要しない共助版ライドシェア（吉野ザクライド）を実施。
- ・新たな交通体系の整備に向けて、**令和7年10～11月の実証運行を準備中**。
- ・地方運輸局等の伴走支援や**地方創生伴走支援官による支援**等を通じ、令和8年2月に、当該地区を地域公共交通計画に位置づけ予定。



準備中の「交通空白」地区

○地区の概要

長野県長野市 信州新町・中条地区、鬼無里・芋井地区、戸隠地区
＜人口：11.0千人、面積：404.39km²＞

○ステータス

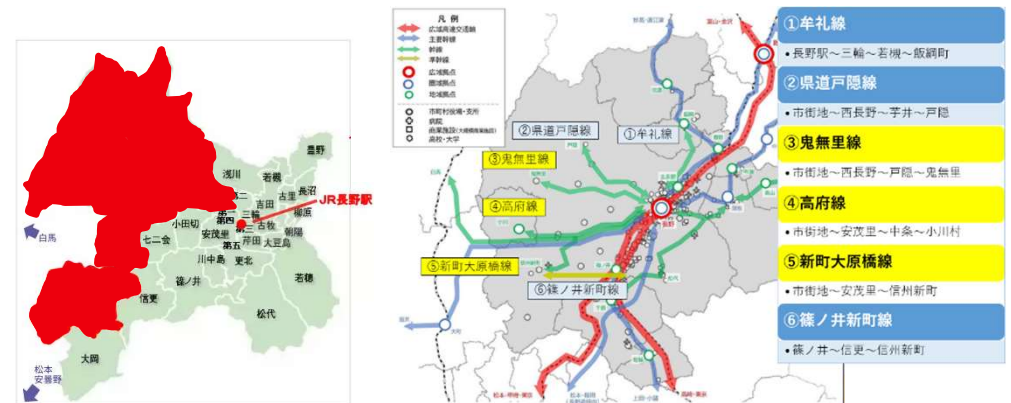
準備中×速やかに対応

○「交通空白」の現状・お困りごと

- ・地域間幹線系統の廃止による中心市街地との定時定路による交通手段が失われる見込み。
(R6.12申入れ、R7年度末廃止予定)
- ・住民からは「通学・帰宅の足として継続してほしい」との声があり、代替手段について、市・県・地元・事業者で協議を実施してきた。

○今後の対応

- ・地域公共交通計画はあるが位置づけていない。
- ・廃止予定の6路線のうち、**「交通空白」解消緊急対策事業を活用して**、鬼無里・高府・新町大原橋線の3路線では公共ライドシェアによる代替手段の運行を実施予定。
- ・牟礼線、県道戸隠線、篠ノ井新町線は乗合タクシーで代替予定。



検討中の「交通空白」地区

○地区の概要

鳥取県日南町 町内全域
 <人口：3.8千人、面積：340.96km²>



○ステータス

検討中×集中対策期間に対応

○「交通空白」の現状・お困りごと

・町営バス(公共ライドシェア)は、朝夕の定時定路と時刻表に沿って日中に運行するデマンド交通の2本立てで運行しているが、デマンド交通は時刻が定められ、かつ本数が少ないため、**買物や通院等の移動手段として使いづらいという声**が寄せられている。

○今後の対応

・日中に運行するデマンドバスについて、リアルタイムの需要に応じた運行に向けた検討を行う。

検討中の「交通空白」地区

○地区の概要

青森県おいらせ町 木ノ下小学校区、甲洋小学校区
 <人口：12千人、面積：30.02km²>



○ステータス

検討中×集中対策期間に対応

○「交通空白」の現状・お困りごと

・令和4年度から運行を開始した区域運行型AIオンデマンド交通「おいらバス」の利用者が年々増加しており、**配車の待ち時間の増加が懸念される**など課題を抱えている。

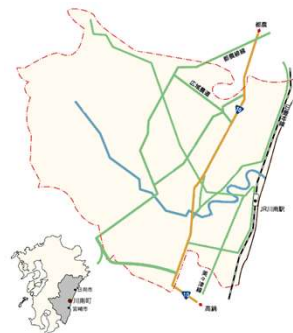
○今後の対応

・地方運輸等の伴走支援等を通じて、単純な運行台数の増車による見直しだけでなく、移動需要を捉えた移動手段の提供について検討を行う。

検討中の「交通空白」地区

○地区の概要

宮崎県川南町 町内全域
 <人口：14千人、面積：90.13km²>



○ステータス

検討中×集中対策期間に対応

○「交通空白」の現状・お困りごと

・町が委託するオンデマンド運行バスについて、「**予約がとれない」「バス停まで遠い**」といった声がある他、**タクシーの夜間営業がない**等、買い物や通院の移動手段がない高齢者等の移動手段の確保にお困りごとを抱えている。

○今後の対応

・地方運輸局等による伴走支援や制度・事例等に係る情報・知見の提供等を通じて、対応方針の検討を行う。

検討中の「交通空白」地区

○地区の概要

沖縄県南城市 市内全域
 <人口：47千人、面積：49.94km²>



○ステータス

検討中×集中対策期間に対応

○「交通空白」の現状・お困りごと

・令和元年の路線再編以降、**運転者不足等による市外との移動を担う路線バスの減便が相次ぎ**、市外へのアクセスや空港からアクセス等の利便性が低下しているほか、夜間にタクシーが配車されない等、市民や観光客の移動の課題を抱えている。

○今後の対応

・市民及び観光客のニーズにあった持続可能な取組の実施に向けて、地方運輸局等による事業者との橋渡し・伴走支援を行う。

未然防止が必要な地区 (要モニタリング地区)

○地区の概要

埼玉県新座市 中野地区
 <人口：0.28千人、面積：0.25km²>



○ステータス

未然防止が必要

○当該地区の現状

- ・当該地区は、柳瀬川により市街地と分断され勾配のある地域である。現状、路線バスのバス停が地域の中央部分にあるものの、勾配等の地形の特性上、今後、高齢者等が増加すると不便が生じる可能性がある。

○今後の対応

- ・地方運輸局等の伴走支援等を通じ、令和7年度中の計画作成を目指す。

未然防止が必要な地区 (要モニタリング地区)

○地区の概要

岐阜県関市 板取地区
 <人口：0.89千人、面積：187.27km²>



○ステータス

未然防止が必要

○当該地区の現状

- ・現在は路線バスを運行しているが、人口減少や少子高齢化が進んでいる地区となっており、将来担い手不足も考えられることから、現在の路線を維持できなくなる可能性がある。

○今後の対応

- ・現行の地域公共交通計画には位置づけられていないため、地方運輸局等の伴走支援等を通じ、計画への位置づけや先手先手の対応を検討する。

未然防止が必要な地区 (要モニタリング地区)

○地区の概要

北海道美瑛町 町内全域
 <人口：9.6千人、面積：676km²>



○ステータス

未然防止が必要

○当該地区の現状

- ・町内で路線バスやタクシーが運行されているが、美しい農村景観など観光資源が豊富で、今後、観光客による移動需要の増加状況等に応じて、地域交通の再編等が必要になる可能性がある。

○今後の対応

- ・現行の地域公共交通計画には位置づけられていないため、地方運輸局等の伴走支援等を通じ、計画への位置づけや先手先手の対応を検討する。

未然防止が必要な地区 (要モニタリング地区)

○地区の概要

福島県玉川村 村内全域
 <人口：6千人、面積：46.67km²>



○ステータス

未然防止が必要

○当該地区の現状

- ・村内では、路線バスの運行がなされているが、現状は運行本数等が維持されているものの、利用者は多くないため、今後減便・廃止等にならないように、未然に何らかの対策を講じていく必要がある。

○今後の対応

- ・地方運輸局等の伴走支援や事業者との橋渡しを通じて、地域公共交通計画への位置づけや多様な主体との連携・協働による取組を検討する。

二次交通サービスの提供

新潟県佐渡市 (両津港)

○ステータス

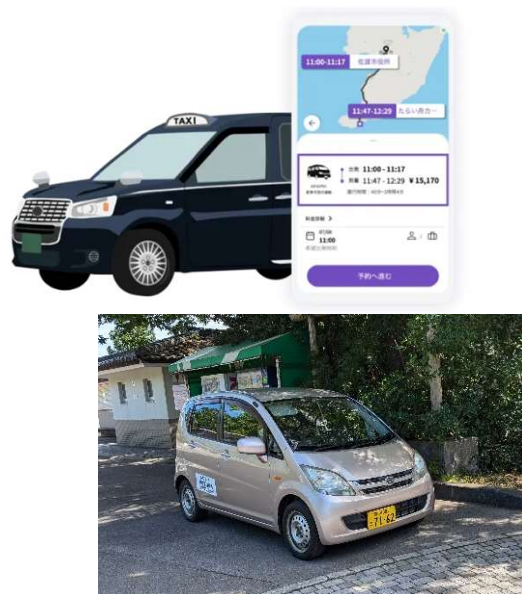
早急に要対策

○「交通空白」の課題

- ・昨年7月の世界文化遺産登録を受け、観光客数が増加しているが、バスやタクシーの台数が不足しており、多客期にはレンタカーも不足

○取組

- ・特に夏季の多客期におけるタクシー不足解消を図るため、4月下旬より公共ライドシェア「佐渡版ライドシェア」の運行を開始
- ・訪日客の利用も視野に、ウェブ上で予約・支払い (日本語・英語対応) が完結するシステム
- ・大型連休期間中、想定を上回る配車依頼があったことから、6月よりドライバー人数を6名から14名に増強予定



二次交通サービスの提供

香川県土庄町・小豆島町 (土庄港)

○ステータス

早急に要対策

○「交通空白」の課題

- ・大阪・関西万博や瀬戸内国際芸術祭の開催に伴い、来訪者数の大幅な増加が見込まれることから、島内バスの混雑や積み残しが懸念される
- ・バス・タクシーの運転手の不足も顕在化

○取組

- ・R7年度観光庁事業により支援し、観光客向けに本年8月から電気自動車 (EV) のシェアリングサービスを導入予定
- ・また、上記EV・シェアサイクルといった新しいサービスや、バスなど主要な交通手段をワンストップで予約・決済できるモバイルチケットを導入予定



二次交通サービスの提供

福島県磐梯町・会津若松市（磐梯町駅）

○ステータス

早急に要対策

○「交通空白」の課題

- ・ インバウンド需要の増加を受けて、会津若松城や大内宿等の主要観光地だけでなく、周辺エリアに点在する観光スポットへの周遊促進が課題
- ・ 周遊観光に利用可能なシームレスな移動手段の提供が不足

○取組

- ・ R7年度観光庁事業により支援し、地域の観光スポットや体験（酒蔵巡りや時絵体験など）を組み合わせ、宿泊施設からの観光周遊型送迎サービスの実証運行を実施予定
- ・ 会津エリアの隠れた観光スポットや魅力的な観光コンテンツへの訪日客の来訪を促すことで、地域の活性化に貢献



二次交通サービスの提供

新潟県新発田市（新発田駅）

○ステータス

早急に要対策

○「交通空白」の課題

- ・ 全国有数の泉質を誇り、ランキング1位となった温泉旅館も所在するが、シャトルバス（豊栄駅～月岡温泉間）で積み残しが発生したり、新潟駅からの在来線が混雑したりするなどの課題
- ・ 観光客の来訪が月岡温泉エリアに偏り、市街中心部（蔵春閣、新発田城等）への誘客に課題

○取組

- ・ R7年度観光庁事業により支援し、本年7月より、新潟駅と月岡温泉を直接結ぶシャトルバスの実証運行を実施し、交通アクセスの改善を図る
- ・ 併せて、月岡温泉と新発田市中心街を結ぶバスの実証運行も実施
- ・ 両路線につき半年間で1.9万人の利用を見込み、シャトルバス・在来線の混雑緩和を図るとともに、市街中心部への周遊を促進



わかりやすい情報提供

北海道登別市 (登別駅)

○ステータス

早急に要対策

○「交通空白」の課題

- ・春節の時期を中心に、多くの訪日外国人旅行者が来訪
- ・駅前バス乗り場で混雑が発生したり、**バス最終便 (20時台) 以降に駅に到着した訪日客が交通手段に困る**ケースも発生

○取組

- ・(株)ぐるなびが運営する訪日客向け情報ウェブサイト「LIVE JAPAN」に、登別駅から温泉街までの**路線バス時刻表などを英語で表示**
- ・併せて、予約可能な新千歳空港・札幌駅～登別温泉間の**高速バスの情報も掲載**
- ・3月上旬～5月上旬の約2か月間で1,000件以上のページビューあり。今後、周辺地域についても掲載情報の充実を図る (R7観光庁調査事業により実施予定)



観光客で混雑するバス停



Smart Ways to Avoid Crowds and Enjoy a Safe, Comfortable Trip to Noboribetsu Onsen.

混雑を避け、安全で快適な登別温泉の旅行を楽しむためにできること

Date published: 10 March 2025

わかりやすい情報提供

長野県安曇野市 (穂高駅)

○ステータス

早急に要対策

○「交通空白」の課題

- ・安曇野市では、住民だけでなく観光客による利用も想定したオンデマンド交通「あづみん・のーと安曇野」を運行
- ・観光客の利用の観点からは、サービスサイト・専用アプリでの表示のみでは周知が進んでおらず、**経路検索での表示が不可欠**

○取組

- ・ジョルダン(株)が提供する乗換案内アプリ (訪日客向け: Japan Transit Planner) で、**経路検索への反映及び予約までをアプリ内で一貫して対応**できるサービスを本年3月より開始。
- ・サービス開始から1ヶ月間で約430件の経路検索利用あり。今後、他地域においても展開する予定 (R7観光庁調査事業により実施予定)



安曇野市 | あづみん・のーと安曇野 API予約連携



TOP画面

経路検索結果

予約まで乗換案内アプリで完結!

湯沢版MaaS (新潟県湯沢町)

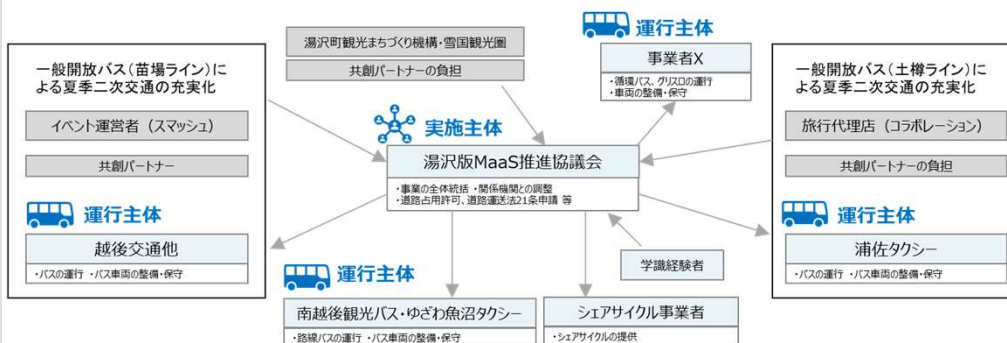
○地域の現状・課題

- 湯沢町では、公共交通の運行頻度が低く、運行時間帯が短いなど利便性が低い。
- また、町内にあるスキー場や宿泊施設の利用者は、各施設が運行する送迎バスで移動しているが、送迎バスの多くは路線バスの運行ルートと重複し、非効率である。

○湯沢版MaaSによる「地域の足」と「観光の足」の統合

- 観光客及び住民の交通手段を確保するため、複数の交通事業者と連携して、イベント期間中のスキー場等までの送迎や宿泊施設までの送迎を、路線バスに集約化することで、集約により生じた人員・車両を活用して循環バスを運行。
- 運行に当たっては地域のDMOや自治体、交通事業者が連携し、「湯沢版MaaS推進協議会」を設置し、実証運行を行う。(R7年度共創モデル実証運行事業により支援)

事業の全体像・共創の仕組み



生活・観光需要への対応 (長崎県佐世保市)

○地域の現状・課題

- 佐世保市の西方に位置する離島「黒島」は、約40年前から「共助」により、移動手段が確保されていたが、少子高齢化・人口減少が進み、島民の「地域の足」の確保が課題に。
- また、世界文化遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」等の観光スポットが島内に点在し、「観光の足」も不足。

○地域で連携した公共ライドシェア

- 「地域の足」「観光の足」の確保に向け、黒島島内において、地域住民や地域おこし協力隊等の協力のもと、佐世保市を事業主体、黒島観光協会を運行主体として、島内に点在する観光スポットや黒島港・商店等の生活拠点を結ぶ新たな公共ライドシェアを実証的に導入(R7年度中)。

黒島地区について



黒島天主堂

事業のイメージ

